

個別最適な学び研究部会 授業実践

令和4年11月25日 1年1組 授業者：原田 由枝

教科：国語 単元名：ともだちのこと、しらせよう 本時：3／6

単元の目標：話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。

1 部会の目標（低学年）

多様な手段を知り、意欲を持って粘り強く取り組み、振り返りをできる児童を育てる。

2 本時の学習について

(1) 児童の実態

○ふりかえりでは、簡単な感想や分かったことなど、思ったことを話す機会をとっている。時間はかかるが、ふりかえりの記述ができる児童が出てきた。

○ICTを活用することで、学習課題に意欲的に取り組む。

○ロイロノートで、画像を撮ったり、活用したりする事、友達の考えや作品を見合うことを楽しいと感じる児童が多い。

○文字を入力したり、画像を挿入したりすることを難しいと感じる児童がいる。

○共有ノートの使い方には、まだ慣れていない。

(2) 目指す児童の姿

○話を聞き取るときに、録画したものを活用することの良さに気付く。

○録画した物を見て、声の大きさや相づちの打ち方など自分のインタビューの仕方について気付く。

(3) これまでの取組

○写真や動画を撮り、提出し、みんなで見合う。

○道徳の時間に、振り返りで思ったことを録音する。

○手書き入力で、図工アルバムにコメントを入れる。

3 授業における手立て

○ロイロノートでインタビューを録画する。

聞きながらメモを書く作業を減らすことで、質問したいことをよく考えて話したり、聞き落とさないで話の内容をとらえることができる。



4 成果○と課題●

- 自分が聞きたいことを質問する活動に、どの子も意欲的に取り組むことができた。
- 録画を聞きながら、質問したことを振り返り、メモをすることができた。
- 授業の最後の場面では、自分の思ったことを録画することにより、短い時間で振り返りを記録することができた。
- 学習の進め方の説明や、インタビューの待ち時間が長くなってしまい、メモをとる時間が短くなってしまった。
- インタビューをする児童のクロムブックのみを使用したが、2台とも使用すれば、インタビューの場面も、答える場面も両方とも、振り返ることができたし、時間の短縮もできた。また、録画に失敗した児童にも、対応できる。